

2023 November

311号



はるあけぞい

●医療法人創和会広報誌はるあけぞい / 発行 医療法人創和会理事長 重井文博
令和5年11月1日発行

2024年初秋開院予定 しげい腎クリニック早島

研究所附属病院 事務部 次長 田中 昭彦

■地鎮祭を執り行いました

創和会初となる透析専門クリニック「しげい腎クリニック早島」の新築工事が令和6年8月の竣工を目指して開始されました。

10月23日（月）午前8時より、早島の氏神様をお祀りする鶴崎神社の神職をお迎えし、地鎮祭を執り行い工事の安全を祈願しました。

爽やかな秋晴れのもと、来賓に佐藤博文早島町

長と木村丹都窪医師会長をお招きし、重井理事長をはじめ、創和会本部、しげい病院、研究所附属病院から幹部職員と開院準備室の4名と工事関係者が参列しました。

これから約10か月にわたる工事が始まります。工事関係者の皆さまには、何よりも安全に工事を進めていただくことをお願い申し上げます。



■ 11月から「開院準備室」がスタート

昨年の夏からクリニック開院プロジェクトメンバーで、建物の間取りやカウンターの高さ・手洗いの場所・設備等の仕様決定などの打合せを重ね、クリニックの建築工事がいよいよ始まります。

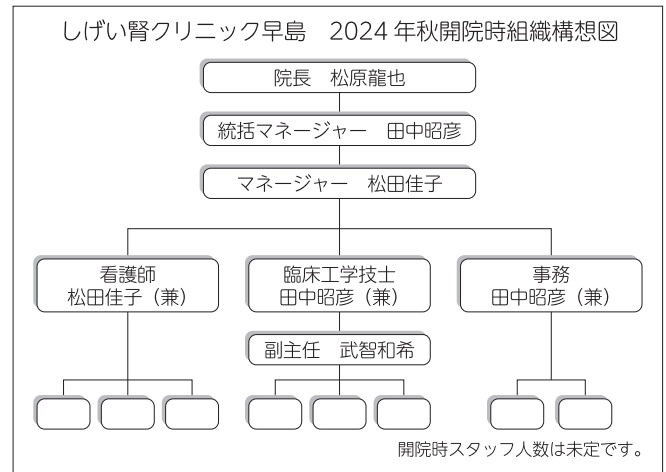
これを受けて、クリニックの運営を担う「開院準備室」が11月1日付けで正式にスタートします。開院準備室のメンバーは、しげい病院から松



▲開院準備室メンバー集合写真

原内科部長と松田副看護部長、研究所附属病院から武智臨床工学部副主任と田中の4名です。

今まで開院プロジェクトメンバーで積み上げてきた建物の仕様や考え方を引き継ぎながら、スタッフのこと、運営方針のこと、治療や検査に関することなど、開院に向けて解決しなければならない様々な課題に取り組んでいきます。



【設計監理】

アソシエイツ一級建築士事務所

主宰 井上 宏章

【施工】

藤木工務店倉敷支店

倉敷支店長 伊澤 健二

工事統括所長 中山 徹

工事所長 中村 明幹

着工 令和5年10月23日

完成 令和6年8月31日



▲アソシエイツ一級建築士事務所と藤木工務店の皆さま



▲外観イメージバス

消火技術訓練大会で大活躍!!

■しげい病院チーム ～見事、優勝!!～

しげい病院 検査健診部 中土井 優真
しげい病院 看護部 階嶽 未星

10月6日(金)に、第35回消火技術訓練大会が開催されました。この訓練は、消火器の基本的な取扱いと操作技術を2人1組で競います。火災発生時に、迅速・的確な初期消火体制を確立して被害軽減を図ることと、防火の大切さを再認識することが目的です。2020年よりコロナ禍のため中止となり、今年は4年ぶりの開催となりました。

競技は、火災現場の発見から通報、消火器での初期消火までのタイムを競います。迅速性はもちろん、安全性や確実性、声の大きさなども審査対象となります。水の入ったペットボトルを標的として狙います。

9月より本番に向けて訓練を開始しました。コースで実践練習をした後、監督の医療支援部吉田係長を含めた3人で速いチームとの違いなどを話し合うことで、練習を重ねるにつれてタイムが縮まっていき、やりがいや楽しさを感じるこ

ことができました。また、院内で消火器があると目に入るようになり、日頃から防火の意識を持つ大切さを学ぶことができました。

本番は緊張しましたが、練習の成果を発揮し、優勝することができました。自分たちのベストを出すことができたうえで優勝できて、非常に嬉しかったです。

最後に、忙しい業務の中、練習や大会に参加させてくださった部署の皆さん、監督の吉田係長、熱心にご指導いただいた消防署の方々、心より感謝いたします。ありがとうございました。



■研究所附属病院チーム ～敢闘賞をいただきました!～

研究所附属病院 リハビリテーション部 森安 静香
研究所附属病院 地域連携室 平松 朋恵

第42回消火技術訓練大会が9月27日(水)に岡山市消防教育訓練センターで開催され、今年は消火器女子の部に出場しました。

本番に向けて約3週間、院内立体駐車場や現地での練習を重ねてきました。事務部総務課の小笠原監督の指導のもとで正確な規律と安全性を伴った迅速な消火操作を身につけることができ、現地練習では消防士の方々から直接、規律や技術の指導をいただきました。

当日、開会式では選手宣誓を任命され、競技は、トップバッターを務めました。

緊張感のある会場でしたが、集中していたこともあり、開始の号令から競技終了までが一瞬に感じました。本番では、ミスすることなく自分たちの最良の競技ができ、今まで訓練してきた成果を発揮することができました。

結果は、惜しくも僅差で優勝はできず、敢闘賞に選ばれました。大会参加にあたり、他職種でペアを組んで新たな交流ができたことも新鮮でした。今大会への出場に理解を示していただいた事務部長をはじめ、ご指導いただいた小笠原監督、業務を抜けた際にフォローしてくださった同僚の皆さんには感謝いたします。

今後は、患者さんや職員の皆さんが安心・安全に過ごせるよう、日頃から防災に対して意識を持ち、いざというときに率先して行動できるように心がけ、今回の訓練で身につけた技術を活かしたいです。



幸町記念病院のホームページを一部リニューアルしました

ホームページはこちらから



幸町記念病院 事務部 大賀 一希

この度、幸町記念病院のホームページを一部リニューアルしました。

今回「リクルートに注力したホームページ作成」を目標に、トップページの画像変更やメニューの項目を変更しました。

以前のホームページでは、開設当初からページの増設を繰り返しており、構成的にもわかりにくいものでした。また、挿入されている画像等も更新が間に合わず、どこか古い印象を与えていました。

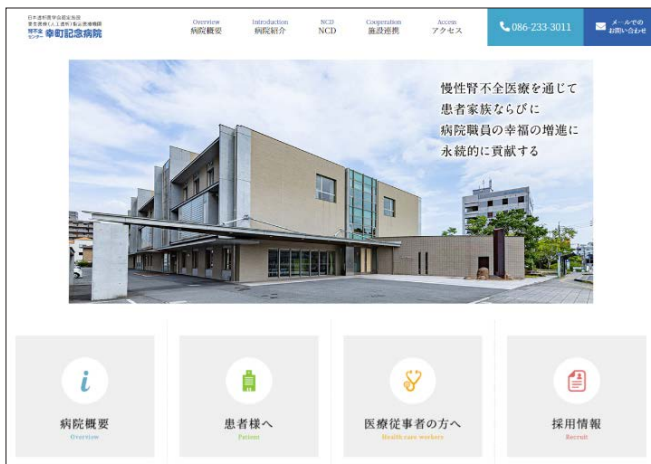
今回のリニューアルで、利用者の皆さんがより見やすく、内容も分かりやすくお伝えできるようにデザインや構成を改善しました。また、写真はプロのカメラマンに依頼し、全体的に新しく、明るい印象のページになるよう撮影していただきました。

求人募集については、幸町記念病院の特徴や看

護師、臨床工学技士の専門職の方が幸町記念病院でどのような役割を担っているのか等、皆さんに分かりやすく知ってもらえるようなページを作成しました。また、1職種ごとに固定URLを設定することにより、求人掲載サイトへ自動掲載をできるような構成にして、求職者の方の目に留まり易いよう改善を行いました。

より良いホームページを作成するために、創和会の広報担当者に相談に乗ってもらい、ホームページ制作会社の方には打ち合わせで何度も足を運んでいただきました。ご協力いただきました皆さん、お力添えいただきありがとうございました。

今後も内容の充実を図るとともに、利用しやすいホームページを目指しますので、どうぞよろしくお願いたします。



▲トップデザイン



▲打ち合わせ風景



▲カメラマンによる写真撮影風景



こんな
素敵な写真が
撮れました！

透析装置を更新しました

しげい病院 臨床工学部 副技士長 待場 敏

先日しげい病院血液浄化療法センターに新しい透析装置が納入されました。今回の機器更新では透析液供給装置1台、透析液溶解装置AB各1台、患者監視装置19台が新しくなりました。また現在の血液浄化療法センターが開設して10年以上経過している事から、フロア透析液配管も全て新しい物に交換しております。

しげい病院では124床の透析ベッドを有しておりますが、今までは40床用透析液供給装置2台と70床用供給装置2台の計4台の供給装置がありました。今回の更新では40床用供給装置2台を70床用の1台に集約する事により、透析液やランニングコストを抑える事が可能となりSDGsへの貢献も行っております。

ところで124床のベッドに対し70床用透析液供給装置が3台、計210床の供給能力ってかなり多いと思いませんか？我々臨床工学技士は血液浄化治療に携る傍ら、医療機器の管理やメンテナンス業務も行っております。しかし人間と同様に、

医療機器も予期せぬ不具合や故障を起こす事が稀にあります。万が一透析液供給装置の1台に不具合が生じ、透析が不可能となった場合でも残り2台の供給装置にてバックアップを行い、問題なく透析治療を行う為に余裕を持たせた供給能力を担保しております。

透析治療が安心・安全に行える環境を維持出来るように、これからも血液浄化療法センタースタッフ一同で日々の業務に努めて参ります。



▲新しい透析装置



▲フロア透析液配管も全て新しい物に交換

お待たせしました

永年勤続海外研修が復活します!!

創和会本部 経営管理部長 横山 誠二

創和会では永年勤続表彰の一環として、勤続10年でハワイへ、20年でヨーロッパへの海外研修旅行を行って来ました。

2020年2月以降、コロナ禍で旅行が中止になっておりましたが、11月1日より再開することとなりました。約4年間、旅行に行けない期間がありましたので、それぞれの職員が旅行に行くことが

できる期間も4年間延長することとしました。

ご家族や部署の皆さんとよく相談・計画して、最高の旅行を楽しみましょう。私もハワイ旅行の計画をしなくちゃ。円安、どうかしてくれ～。



◀勤続10年▲
ハワイ研修



勤続20年
▼ヨーロッパ研修▶



はあもにい倉敷に岡山県立大学看護学科1年生が 実習に来られました

はあもにい倉敷 介護予防チーム 保健師 横川 祐伊

岡山県立大学では、2022年度より地域生活支援基盤実習が始まったそうです。この実習は、疾患を持った方の生活環境や地域社会を理解することで、生活を支援する看護の視点を学ぶことを目的としています。

今回、カルチャー教室・フィットネス・デイサービス・英語教室を運営しているはあも



▲学生さんと利用者さん

にい倉敷が実習施設として選ばれ、9月19日から21日の3日間、6名が実習に来られました。

実習中は、デイサービスで看護師の仕事内容を学びながら一緒に作業や体操をしたり、カルチャー教室では、ヨガやコグニサイズ、吹き矢等を体験しました。

そして、「1日の過ごし方は?」「なぜサービスを利用されているか?」「生きがいは?」など、利用者さんとの様々な会話の中から、利用しているサービスがどのような意味を持つのかを学ばれていました。

初々しい学生さんたちと話をしていると、自分が看護学生の時はこんな感じだったなあ〜と懐かしく思いました!だーいぶ前のことですが(笑)

看護師を目指して頑張ってください!応援しています!

第11回トマト銀行6時間リレーマラソン 岡山大会

～研究所附属病院&幸町記念病院から参加～

幸町記念病院 事務部 矢吹 静香

10月15日(日)、シティライトスタジアムで開催された「第11回トマト銀行6時間リレーマラソン」に、研究所附属病院と幸町記念病院が参加しました。当日はスタート直後に雨に打たれるハプニングもありましたが、その後は天候にも恵まれマラソン日和でした。

この大会は、6時間の制限時間内に1周約1.1kmの特設コースをチームで何周走ることができるかを競う競技です。研究所附属病院チームはこの大会に何度も出場されており、各地のマラソン大会にも参加されている本格派のチームです。幸町記念病院は今回有志での参加でしたが、前回までは病院行事としてこの大会に出場しており、前院長の宮崎先生も一緒に走った思い出の大会です。

スタートの合図から6時間を順番に走り、休憩中には仲間に声援を送ります。時には1周がしんどくて歩きながらも一人ひとりが仲間のために奮闘し、チームでタスキを繋ぐ姿はとても感動的です。フィナーレにはスタジアムが大声援で一体感であふれる空間でした。そして、見事両チーム完走という華々しいゴールでした。

今回の参加でチームメンバーはもちろん、応援に来てくれた職員の家族も含めて、多職種での交流や研究所附属病院の方々との交流も実現し、より一層親密になれた気がします。この大会は順位も大事ですが、なにより「仲間と楽しくタスキを繋ぐ」というのが魅力のひとつかなと思いました。参加された皆さん、お疲れさまでした。



研究所附属病院



★研究所附属病院&幸町記念病院で集合写真★



幸町記念病院



10月26日(木)、重井文博理事長が
岡山県保健衛生功労者として表彰され
ました。
表彰種別：地域医療事業功労 知事表彰

発令事項 (令和5年11月1日付)

しげい腎クリニック早島

開設準備室兼務を命ずる

しげい病院 内科部長	松原 龍也
看護部	松田 佳子
研究所附属病院 事務部	田中 昭彦
臨床工学部	武智 和希

催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「綿毛舞い飛ぶ秋を楽しむ」

日時：11月12日(日)

10:00～12:00

会場：重井薬用植物園

編集後記

●今回は広報誌はあもにいの原稿が出来上がるまでの裏話を。まだまだ不慣れな私たちは1つの記事を書くにあたり院内編集委員での打ち合わせから始まり、他部署への協力依頼、写真撮影やインタビューを終え、原稿執筆に取り掛かります。書いては消しを繰り返し、編集委員同士で添削し、毎度締め切りと戦いながらどうにか入稿しています。どうしても時間はかかってしまいますが、完成した広報誌を見ると達成感が湧き、更に完成した広報誌を見てくれた職員から声をかけて貰えることは、とても嬉しく励みになっています。今、私が一番欲しいものは「語彙力」(笑)もっとたくさん本を読む生活をしていれば良かったな～と思う今日この頃です。(Y S)

●先日久しぶりに京都へ行って参りました。以前はよく旅行をしていましたが、コロナ禍で行くことができず、実に4年ぶりの旅行。しっかりと計画を練って行って参りました。観光地に着くと見渡す限り外国人。ココハ日本デスカ?と思わず疑うほど外国の方々であふれかえっており、日本語が聞こえるのはお店の人との会話と交通機関のアナウンスぐらい。伏見稲荷の屋台のお兄さんが「円安で外国人はたくさんお金使ってくれるから助かるよ!さっきも1本6,000円の和牛の串7本売れたからね!」と教えてくれました。1本6,000円。しかも神戸牛です。京都で。いや神戸牛がおいしいのは分かっていますし、外国人観光客からすれば和牛が食べられたらそんなに関係はないのかもしれませんが。上手な商売だと思いつつ円安の影響を肌で感じつつ、日本人は日本人の楽しみ方で過ごしやすいつつ秋の京都を満喫しました。(K R)



生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

WEB版はこちら。
バックナンバーも
ご覧ください。



しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所
〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207